

平成19年度一般会計7月補正予算

【安心】県民が支え合う福祉コミュニティ形成戦略

(単位：千円)

事業名	平成19年度 補正予算 ＜累計＞ (前年度当初)	補正予算の概要	所管課
20 (特) 交流型デイサービスモデル事業	7,754 ＜7,754＞ (0)	年齢や障がいに関係なく誰もが地域で共生できる社会づくりを進めるため、高齢者、障がい者、児童等が交流できるデイサービス施設を整備する事業者に対し助成する。	地域福祉推進室
21 放課後子どもプラン推進事業	28,704 ＜291,316＞ (197,635)	【特】すべての子どもの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」を連携して運営する市町村に対し助成する。 ・保育に欠ける児童9人以下（概ね10歳未満）の小規模クラブに対し助成 ・放課後や週末等に地域交流活動などを行う子ども教室に対し助成	少子化対策課 生涯学習課
22 (特) 地域の子育て支援パワーアップ事業	3,511 ＜3,511＞ (0)	安心して子どもを生み、健やかに育てられる社会を実現するため、地域の子育て課題を共有し、母親クラブなどの団体が行うネットワークづくりを支援する。 地域の子育て支援や次代の親づくりなどの企画を公募し、NPO等に委託する。	少子化対策課
23 地域子育て支援拠点事業	8,502 ＜140,094＞ (101,750)	子どもの健全育成や子育て家庭への支援を充実するため、地域における子育て支援拠点施設を設置する市に対し運営費を助成する。 (別府市、日田市、佐伯市、宇佐市)	少子化対策課
24 (新) 周産期医療体制整備事業	17,997 ＜17,997＞ (0)	妊娠・出産に関わる医療の安全確保のため、アルメイダ病院が行う地域周産期母子医療センターの設置に対し助成する。	健康対策課
25 (枠) 要保護児童ケア支援事業	1,375 ＜1,375＞ (0)	児童養護施設の子どもの人権を守るため、施設で守られるべき子どもの権利や責任を解説した冊子を作成する。 個別の課題を抱える施設のケア技術向上を図るため、保育士やセラピスト等を派遣し、研修を行う。	少子化対策課
26 (特) 高齢者健康と憩い支援事業	9,602 ＜9,602＞ (0)	高齢者の社会参加や生きがい、健康づくりなどを推進するため、高齢者大学を県内各地で実施するとともに、カリキュラムを充実する。 高齢者自らの発案による学習活動等に対し助成するほか、地域に根ざした技能を持つ人材を発掘、登録し、放課後子ども教室等に派遣する。	高齢者福祉課
27 図書館活用夢ライブラリー事業	6,023 ＜14,331＞ (13,071)	【特】県立図書館に、健康づくりやボランティア活動など社会参加に関する実用書等を集中的に配置するコーナーを新設する。	生涯学習課
28 (新) 認知症地域支援推進事業	11,495 ＜11,495＞ (0)	認知症の早期発見、早期治療を推進し本人や家族を支援するため、予防活動等を行うボランティア団体や医療機関等からなるネットワークの構築について、モデル地域となる市町村に対し委託する。	高齢者福祉課
29 老人福祉施設整備事業	228,690 ＜301,793＞ (419,761)	要援護老人に対する施設福祉サービスの充実を図るため、社会福祉法人が整備する老人福祉施設の増改築に要する経費に対し助成する。 ・2施設（別府市、佐伯市）	高齢者福祉課

平成19年度一般会計7月補正予算

【安心】県民が支え合う福祉コミュニティ形成戦略

(単位：千円)

事業名	平成19年度 補正予算 <累計> (前年度当初)	補正予算の概要	所管課
30 特 (再掲) 障がい者雇用応援団事業	8,276 <8,276> (0)	障がい者雇用を促進するため、雇用に理解のある企業を「障がい者雇用応援団」として募集し、就業・生活支援センターなど支援機関や特別支援学校と連携して障がいの程度に応じた職場実習の機会を拡大する。障がい者雇用に取り組む優良企業の事例を広く紹介するとともに、企業見学会を開催する。	雇用・人材育成課
31 障がい者就労訓練設備等整備事業	43,000 <43,000> (11,250)	障害者自立支援法に基づくサービス体系への円滑な移行を図るため、就労移行支援、就労継続支援等に必要な設備等を整備する社会福祉法人等に対し助成する。 ・11施設（別府市、佐伯市、津久見市、竹田市、由布市等）	障害福祉課
32 障がい者福祉施設整備事業	310,921 <310,921> (6,913)	障がい者に対する福祉サービスの充実を図るため、社会福祉法人が整備する障がい者福祉施設の改築に要する経費に対し助成する。 ・2施設（臼杵市、宇佐市）	障害福祉課
33 特 社会福祉センターあり方検討事業	1,767 <1,767> (0)	児童虐待、ドメスティックバイオレンスの深刻化や三障がいのサービス利用一元化など、福祉を取り巻く状況が大きく変化し、また、施設も建設から40年以上経過していることから、社会福祉センターのあり方を検討する。	福祉保健企画課

※ 特は「おおいた挑戦枠事業」、新は「新規事業」、枠は「部局枠事業」